



見物客は次々と打ち上げられる花火に見入っていました

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。

☎・内線1202まで。

花火の彩りでにぎわう

第13回八幡平ふるさと花火まつり

八幡平ふるさと花火まつり(市観光イベント実行委員会主催)は8月15日、松尾総合運動公園で開かれ、多くの家族連れがまつりのイベントを楽しみました。

松川一の宮太鼓のメンバー約40人による迫力ある演奏で開幕。続いて、市内愛好者によるさんさ踊り、盆踊り太鼓が行われ、見物客も輪に入って踊りを楽しみました。まつり終盤のメインイベントでは、音楽に合わせて約6千発の花火が夜空を彩り、見物客は時折の雨に傘を差し、歓声を上げていました。



まつりのオープニングを飾った一の宮太鼓の演奏



田村正彦市長と握手するニコラスさん(右)

市の魅力を海外へ発信

国際交流員(CIR)辞令交付

市は8月6日、初の国際交流員としてカーメン・ニコラスさん(25)を採用しました。

国際交流員の任期は1年間(最長5年まで更新可)。アメリカ・アラスカ州出身のニコラスさんは、アラスカ大学の日本語学科を卒業し、国際交流員へ応募。本市商工観光課に配属されました。主な活動は、(株)八幡平DMOと連携しながら訪日外国人旅行者(インバウンド)向けのホームページ、パンフレットの作成で、市内への誘客を図ります。



八幡平ふるさと会の田村啓造会長(右)が13万3281円の寄付金を贈呈(8月15日、市役所)



約1400匹のイワナが放流され、参加者はつかみ取りを楽しみました(8月14日、イワナつかみフォーラム)



観客を魅了したBMX(自転車競技)のアクロバティックなショー(8月11日、CALM FEST 2018)



スイカ割りの成功で盛り上がる参加者

地域ぐるみで長寿を祝う

共新町内会夏祭り・敬老を祝う会

共新町内会は7月28日、恒例の夏祭りの開催に併せて、地域の75歳以上の高齢者を祝う会を旧平館公民館跡地で開きました。

市内で初となる行政区単位での敬老会には、招待者62人中28人の出席者を含む140人が参加。招待者らは、カラオケやゲームに参加し、近所の人たちと一緒に盆踊りや花火などを楽しみました。佐藤ヨシさん(88歳)は「こうして祝ってもらえて、いい時代に生まれて幸せです」と笑顔で話してくれました。

市内で透析治療が可能に

西根病院に人工透析室が開所

市国民健康保険西根病院は8月7日、腎臓機能に障がいがあり透析治療が必要な人のために、人工透析室を開所しました。

市内で人工透析の治療を受けている人は8月3日現在86人。これまで盛岡市など市外でしか治療を受けられず、週3回を要する治療は移動時間だけでも大きな負担となっていました。現在は2床だけですが、新西根病院の開院後は8床の運用を計画しており、将来的に更なる利便性の向上を図ります。



臨床工学技士から装置の説明を受ける田村正彦市長

遊びながら仕事を体験

Little Bee of Hachimantai

市商工会青年部は8月5日、松尾コミュニティセンターで、小中学生向けの職業体験会を初開催しました。

地元にはさまざまな仕事や働く場所があることを子どもらに知ってもらおうと、約20の企業などが参加。子どもらは、歯医者や釘打ちなどの体験のほか、地上15㍍の高さを体感できる高所作業車などに乗り込んで、憧れの車に笑顔を見せっていました。

斎藤水澄くん(5歳)は「将来は大工さんになりたい」と釘を打って完成させたすのこを見せてくれました。



モニターを見ながら真剣に歯の治療を体験



開会行事で決意表明する株式会社山金組の三浦勤さん

道路交通の安全を確保

市建設協同組合道路清掃活動

市建設協同組合(遠藤忠志理事長)は8月10日、8月の道路ふれあい月間に合わせて、市内各所の道路清掃を行いました。

同組合に加盟する29社の他、岩手土木センター、市建設課の職員を含めた約180人が参加。道路ふれあい月間推進標語「きらきらのこの道ずっと守ろうよ」をスローガンに掲げ、帰省した人や観光客、地域住民に気持ちよく通行してもらおうと、ごみ拾いに汗を流しました。



減塩で将来の健康づくり

子どもの食育教室

田頭学童保育クラブは8月1日、田頭小学校調理室で、子どもの食育教室を開き、健康のための食習慣について学びました。

参加した児童17人と中学生ボランティア2人は、市健康福祉課の栄養士と市食生活改善推進員の指導の下、おにぎらずや野菜たっぷりの適塩豚汁などを調理しました。青木珀くん(田頭小5年)は「豚汁がとてもおいしかった。おにぎらずは家でも作ってみたい」と意欲を見せっていました。

地域課題の解決策を共創

丸の内プラチナ大学八幡平分校Ⅱ

丸の内プラチナ大学八幡平分校Ⅱは7月28日、市役所多目的ホールで開かれ、受講生と市民合わせて約30人が地域課題の解決に向け、意見を交わしました。

受講生は26日から4日間、市内に滞在。市商工会青年部や地域おこし協力隊など現地キーパーソンから話を聞いたり、現地を視察したりと事前に課題を調査しました。市民とのワークショップでは、受講生が発表したプランの実現に向け、現状課題や解決手段などさまざまな意見が飛び交いました。



既存のベンチョンを利用したリゾートワークプランを提案

すなっぷギャラリー



8月13日で100歳を迎える工藤キツさん=町組=これからもお元気で(21日、ばんたれい)



8月17日で100歳を迎える安保ハキさん=田山上=これからもお元気で(17日、りんどう苑)



市役所に設置された踏切非常ボタンの模擬装置を体験してみよう(8月14日、結いのひろば)



市建設協同組合から八幡平ふるさと花火まつりに40万円の協賛金をいただきました(8月6日、市役所)



帰省客にリンドウや啓発用チラシを配り、夏の交通事故防止を呼び掛けました(8月10日、西根IC)